

令和3年5月吉日

緑が丘まちづくり推進協議会御中

国立大学法人 旭川医科大学
医学部看護学科
部局責任者 服部ユカリ旭川医科大学医学部看護学科
「地域包括ケア論」「地域包括ケア実習」に関する協力依頼

小暑の候、貴職ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素より本学の教育・研究に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

看護学科では平成31年度より新しいカリキュラム（2019カリキュラム）による教育を開始し、今年で3年目を迎えました。このカリキュラムでは住み慣れた地域でのより良い暮らしと医療・ケア（地域包括ケア）を担う人材育成をねらいとした新科目「地域包括ケア論」と「地域包括ケア実習」を開講いたします。これは平成29年に文部科学省より公表された「看護学教育モデル・コア・カリキュラム」（別紙）においても要請されている内容です。

この科目では、広く地域に暮らす個人・家族・集団を対象とした看護を主体的に実践する能力を涵養することを目的としております。

そこで旭川医科大学が所在する緑が丘地区の住民のみなさまにもぜひこの科目の教育にご協力いただき、未来に向けた医療人育成のために協働していただければと思います。また、未熟な学生ではありますが、この講義・実習を通して緑が丘地区の皆さまの健康生活の一助となることができると考えています。

また、この「地域包括ケア論」は1～4年まで開講し、学生は1年生から4年間にわたり緑が丘地区を学びの場とさせていただき、継続して関わりをもつことでより具体的に地域包括ケアを学ぶことを企画しています。学習目標達成のフィールドとしてぜひ緑が丘まちづくり推進協議会の活動に参加する機会をいただきたいと存じます。今後の新型コロナウイルス感染症拡大状況にもよりますが、感染対策を取りながら学生の学びの機会として地域活動への参加を行いたいと考えています。

具体的なプログラムおよび参加人数等は未定ですが、ぜひ皆様のご意見を伺いながら学修内容を検討していきたいと考えております。なお、現時点での予定で構いませんので、学生が参加可能な地域活動について（別紙2）をご記入の上、お手数をおかけしますが下記担当あてに返送いただくと幸いです。どうぞよろしくお願い申し上げます。

連絡先

旭川医科大学医学部看護学講座 地域包括ケアチーム
地域包括ケア論Ⅲ／地域包括ケア実習 科目責任者
升田 由美子

別紙 1

看護学教育モデル・コア・カリキュラムの考え方(文部科学省)

- 1 モデル・コア・カリキュラム策定の背景(略)
- 2 モデル・コア・カリキュラム策定の趣旨と大学教育における活用等(略)
- 3 国民への周知や協力の依頼

臨地実習に当たっては、様々な場面での看護の対象として関わる国民の理解が必要不可欠である。各大学においては、実習協力施設との調整の下、実習の受入れの同意を適切に取得するとともに、臨地実習への国民の協力を広く請うために、看護学教育の必要性と重要性について周知を図ることが望ましい。(中略)

- 1) 医療・看護では、患者自身や家族の理解と協力が不可欠であること
- 2) 看護学教育においても、保健・医療・福祉の様々な場面での実習を通じて、学生が患者や要介護者等の看護の対象者に直接接することが必須であり、これらの人々の協力が不可欠であること
- 3) 実習への協力を通じて看護学生と一緒に育ててほしいこと
- 4) 看護学教育への協力が、将来的により良い看護や看護学の進歩といった形で広く国民に還元できるものであること

4 学生及び各関係者への要望

- 看護学生に求めたいこと(略)
- 看護学教育に携わる各関係者にお願いしたいこと

看護学教育とりわけ臨地実習は、今後、今まで以上に地域医療(地域完結・循環型医療)や地域包括ケアシステムを意識し、様々な領域に関わるものとなるため、地域の関係機関等には在宅医療・訪問看護、職域の保健活動及び教育等を含め大学の実習に協力をお願いしたい。(以下略)

(別紙2) 学生が参加可能な地域活動について

	地域活動(イベント)の名称	日時	場所	参加可能 人数
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				

※学生が参加可能と考えられる地域活動がありましたらご記入をお願いいたします。

感染症の流行状況により変更・中止となる場合もあると思いますので、現時点で参加の可能性が考えられる活動・イベントをお書きいただければ幸いです。